

	資料1 ページ	委員意見	対応
1	P.7	取組指標について、「市民一人当たり公園面積」のほか、公園までの距離、学区内での公園数・面積などの表し方もあるのではないか。	良好な都市環境の形成に向けて、長期的な視点で都市公園を整備・管理していくに当たり、都市公園がどの程度確保されれば満足すべき生活環境となるかを定量的に表すものとして、都市公園法施行令では住民一人当たりの都市公園面積の標準を10㎡以上と定めています。 市でもこの基準を踏まえて、白井市都市公園条例で市民一人当たりの都市公園面積の標準を10㎡以上と定めています。 現段階で、条例に定めた標準を達成できていないことから、まずは当該標準を達成できるよう、都市公園が不足する地区への公園整備を進めていきます。
2	P.11	取組指標について「待機児童数」ゼロも重要であるが、待機児童対策のように国全体で取り組むこと以外に、例えば保育の質など、白井市が重要視する部分の指標があってもよいのではないか。	近年、待機児童が発生している状況の中、保護者がニーズに応じた保育サービスを受け、働きながら子育てしやすい環境を実現するため、第一には待機児童の解消が重要であると考えております。 保育の質などの視点については、保育内容の充実や保育士の資質向上、保護者の満足度の向上など、複合的な面があると考えておりますので、後期基本計画の推進に当たり、これらの視点も意識して取り組んでいきます。
3	P.9	質をどう問うていくのかという部分が弱い印象である。保育の質の視点のほか、働く魅力という部分で、白井にどのような企業があり、どのような働き方ができ、その企業で働くことどのようなライフスタイルがなるかというイメージ喚起に結びつけていくことが重要ではないか。	後期基本計画に取り組んでいく中で、工業団地見学ツアーや就職フェアなどを通じて市内企業の認知度向上を進めるとともに、工業団地協議会や商工会などと連携して、企業側の情報発信の方法などを工夫していきます。
4	P.15	施策名が「魅せる農」のまちづくりとなっているが、就労的なかわりや、ブランド的なかわり、農業体験などを通じたかわりなど、いろいろなものを結び付けていくという観点から「かかわれる農」のまちづくりでもよいのではないか。	「かかわれる農」のまちづくりは、取組内容を的確に表現していると判断するため、施策名を【「魅せる農」のまちづくり】から【「かかわれる農」のまちづくり】に修正します。
5	P.15	取組指標について「農業産出額」など農業全体の指標のほか、生産者個々の平均所得や経営力の向上という指標があってもよいのではないか。	生産者個々の所得や経営力は担当課で把握していませんが、市では「育苗センター」を設置し、共同育成した大苗を農業者に販売することにより、老木化した梨の木の改植を促進し、生産性の向上につなげているため、それを表す指標として「梨の改植・新植面積」を追加します。
6	P.16	「もっと豊かに」の「農薬の散布など農業に対する理解を深める」について、意図しているものと異なる解釈もあり得るため、わかりやすい表現にした方がよいのではないか。	「農業における農薬散布の必要性など農業に対する理解を深める」に修正します。
7	P.18	「もっと豊かに」の「自宅周辺などでの緑化活動を行う」について、漠然としているため、わかりやすい表現にした方がよいのではないか。	「自宅の庭木や生け垣などのみどりを良好に維持管理する」に修正します。